

市役所 オープン・カンパニー(1dayインターンシップ)



新庁舎の見学やグループワーク 守山を知り、公務員の仕事を体験

優秀な人材確保と本市のファンづくりを目的に初めて行い、県内外の大学3年生約60人が参加しました。参加者は新庁舎を見学した後、グループワークで交流しながら「採用PR動画」を企画する公務員の仕事を体験し、「守山市についての理解が深まった。他大学の学生と交流できた」などと話していました。

8月22日 | 市役所 新庁舎

赤野井自治会夏まつり 35年ぶりに復活



イベントを思い切り楽しみながら 住民の交流と絆を深めよう

新しい住宅が増えた赤野井自治会では、住人同士の交流を深めようと、青年団解散後に途絶えていた「夏まつり」が復活しました。大庄屋諏訪家屋敷、釈迦堂、自治会館で開かれ、歴史に親しむイベントやコンサート、模擬店、キッチンカーなど、さまざまなもてなしが準備され、訪れた住民たちは思い思いに楽しみながら絆を深めていました。

8月19日 | 大庄屋諏訪家屋敷 など

近江のケンケトまつり^{なぎなた}長刀振り ユネスコ認定書伝達式



下新川神社と小津神社の祭礼関係者 認定書に喜びと責任の重さをかみしめ

ユネスコ無形文化遺産として登録された「^{なぎなた}風流踊」の一つに認定された近江のケンケトまつり長刀振りの祭礼を守り継いでいる、下新川神社(幸津川町)および小津神社(杉江町)の担い手など、関係者に認定書の伝達が行われました。参加した関係者は喜びの記念撮影の後、祭礼の道具を紹介する展示や新庁舎を見学しました。

8月29日 | 市役所 新庁舎 ロビー

人権・同和教育研究大会



約1,700人が人権について考え学ぶ ふれあい人権講演会や作文発表も

4年ぶりに市人権・同和教育研究大会を通常開催し、延べ約1,700人が参加しました。午前市内各会場で14の分科会に分かれ、人権にかかわる学校や地域の取り組みを聞いたり意見を交わしたりしました。午後は市民ホールで全体会。市内小中高の児童・生徒による人権作文の発表や、ふれあい人権講演会(写真)で人権意識を高めました。

8月26日 | 市民ホール など



守山市の人口

令和5年8月31日現在
(前月比)

人口	85,804	(+ 37)
男	42,255	(+ 29)
女	43,549	(+ 8)
世帯数	34,870	(+ 38)

「敬老の日」だ。由来は諸説あるが「多年にわたり社会につくしてきた老人を敬愛し長寿を祝う」日だ。▼「近ごろは「敬老の日」ではなく「老人の日」という場合も多い。老人月間・老人週間と合わせて、人生100年の時代に高齢福祉への理解を高め、助け合い、老人自身が向上をめぐす啓発の意味で「敬老の日」とは別ものらしい▼還暦の赤いちゃんちゃんこ、定年の多い65歳、後期高齢者とされる70歳、実は老人の定義も明確ではないのだ。「いつまでも少年の心を持つことか」「気持ちちは二十歳とが、要は気持ちの持ちようで、大人と老人の境界をポジティブに楽しめる年ごろのことではないだろうか。」(あ)



9月15日は「敬老の日」だ。由来は諸説あるが「多年にわたり社会につくしてきた老人を敬愛し長寿を祝う」日だ。▼「近ごろは「敬老の日」ではなく「老人の日」という場合も多い。老人月間・老人週間と合わせて、人生100年の時代に高齢福祉への理解を高め、助け合い、老人自身が向上をめぐす啓発の意味で「敬老の日」とは別ものらしい▼還暦の赤いちゃんちゃんこ、定年の多い65歳、後期高齢者とされる70歳、実は老人の定義も明確ではないのだ。「いつまでも少年の心を持つことか」「気持ちちは二十歳とが、要は気持ちの持ちようで、大人と老人の境界をポジティブに楽しめる年ごろのことではないだろうか。」(あ)